



「はな街道」笑顔で育てる人とまち



秋のお花へ植え替えのお知らせ

猛暑が続いておりますが水奉行の皆様、日々の水やり誠にありがとうございます。

秋花フレンチマリーゴールドへ植え替えのお知らせです。

植え替え時期：2020年9月5日から順次植え替え予定

フレンチマリーゴールド

- 学名：Tagetes Patula
- 和名：万寿菊(まんじゅぎく)・千寿菊(せんじゅぎく)
- 別名：孔雀草(くじゃくそう)
- 英名：マリーゴールド
- 分類：キク科 タゲテス属
- 園芸分類：一年草
- 原産地：メキシコ
- 花期：5月～10月
- 花の色：黄・オレンジ(赤褐色)
- 特徴：初夏から霜が降りるまで咲き続ける花期が長い花。日光を好み、強い陽射しが当たるほど、よく育ちます。土中のセンチュウ(根から侵入し植物に害を与える)という害虫の発生を抑制する効果があります。
- 花言葉：健康・友情・予告
- 由来：“聖母マリアの黄金の花”という意味のマリーゴールド。日本には江戸時代前半に渡来したとされています。



一部の花壇ではさらに新しい花を植えます

カラジュウムとアンゲロニアはまだまだ元気なので夏から秋にかけての生育状態観察のため、植え替えません。新たにゴシキトウガラシとアカバセンニチコウを実験として数か所に植えます。



カラジュウム
日差しが強いので、緑色を増やして自己防衛をしています。

アンゲロニア
日差しと暑さが戻って、本領発揮の植物です。

ゴシキトウガラシ
葉色にも芸があり、黒っぽいカラス葉や白の斑入りに、実の色が赤やオレンジ・紫色などカラフルに色づくものと、シンプルにクリーム色からオレンジ、そして赤に変色するベージュ系なものまで品種が豊富で実の形も様々です。
※園芸植物で観賞用の為食べられません

アカバセンニチコウ
夜の気温が下がるにつれて色鮮やかな赤色が増える品種と、赤シソのような深い小豆色になる品種があります。日当たりの状況でも、葉色の発色が異なることもあります。寒さが苦手な植物で、花は目立ちませんが、白く小さな花が咲きます。花とは異なる葉色の魅力をお楽しみください。

花の広場だより

花の名前がわかるようにネームプレートをつけました。気温と日差しが戻ってきましたので、コリウスの葉の色も良い色になりました。先日植えたキバナコスモスも活着して元気です。花の広場にくると、夏の俳句の季語にでてくる「草いきれ」とはこのことかな?…と感じる植物の熱気があります。暑い日々が続いておりますが、花の広場に來られた時には植物のチカラを感じてください。



*花壇植栽：SIORI SUGII はなぐみ *
*ハンギングバスケット：上田 奈美 日本ハンギングバスケット協会 *

